



大砂土中だより

はつ らつ
澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.10 令和6年2月1日号

力を合わせて乗り越えよう

校長 上統 昌司

1月2日に行われた第102回全国高校サッカー選手権大会3回戦、石川県代表の星稜高校と千葉代表市立船橋高校の対戦では、その応援について話題になっていました。前日の能登半島地震で甚大な被害を受けた石川県の代表として大会に臨むことは、かなり大変だったと思います。心の整理がつかないまま当日を迎えた人も多かったのではないのでしょうか。そんな状況の中、星稜高校を応援する観客席には、2回戦で敗退した日大藤沢、岡山学芸館の部員約50人らがスタジアムに集結し、即席の「大応援団」を結成して応援する姿がありました。また、対戦相手となった市立船橋高校の選手たちが試合前、グラウンドで2文字ずつ書かれた紙を持ち「力をあわせて乗り越えよう」というメッセージを掲げる姿もありました。これぞスポーツマンシップ。サッカーというスポーツを通じて、人の温かさ、友情、勝ち負けだけではない尊い姿を見ることができました。誰かが辛い思いをしている時、手を差し伸べることができるのであれば、その人のできる事、今できることを躊躇なく行動に移すことの素晴らしさを感じます。SNS上でも話題となり、この一連の行動に賛辞を贈る声が沢山ありました。SNSを通じてこの事実を知った人も多いかもかもしれません。SNSは、時に誹謗中傷するツールとして使われてしまうこともありますが、正しく活用すれば、人を勇気づける大きな原動力になります。この高校サッカーでの話題が拡散し、みんなの心を動かし、一人ひとりの思いが形となって繋がっていくことを心から願います。

改めて、スポーツのもつ力の偉大さに気づかされます。何事も目標を明確にもって取り組むことは、とても重要であることは間違いありません。スポーツで言えば、勝つこと、優勝すること、メダルをとること等、人それぞれに目標の設定がモチベーションに繋がり、より練習に対し真剣に取り組むことができます。その練習の過程で学ぶこと、結果が出てから学ぶこと、それぞれに価値があります。スポーツを通じて出会えた人との交流も、大きな財産となるでしょう。もちろん、スポーツだけではなく、音楽や芸術、その他にも「〇〇を通じて」という言葉を当てはめることができます。自分のもっている力や特技、好きな事、その人ならではの良さ等を活かしながら、人生を豊かにすることはできます。

高校サッカー選手たちの心温まる、勇気ある行動にエールを送りたいと思います。大砂土中学校の皆さんも、みんなで力を合わせ、どんな困難な状況に遭遇しても乗り越えていける力を身に付けていきましょう。